



2023 AUTOBACS SUPER GT Round4 FUJI GT 450km RACE

予選 21位 / 決勝 9位



真夏の富士 9位入賞

これまで好成績を残している富士。
今回はサクセスウェイト84kgを積んで挑みます。

450Kmレース、ピット義務は2回。今大会より初回のピットは5周まで不可とルール変更がありました。さらに台風が接近し、荒天が予想されました。

● 8/5(土)

練習走行は14位と厳しい結果。試行錯誤の中何とかQ1突破を目指して予選に挑みます。予選のグループ分けはAで、Q1を担当しました。路面温度が高いこともあり、タイヤにとって一番良いタイミングでアタックできるようしっかり調整。しかしながらタイムは伸びず、グループでは10位。Q2に繋げることはできませんでした。決勝は、後方21位からのスタート。戦略の選択肢が限られる中、雨が降れば、という思いで決勝です。

● 8/6(日)決勝

とにかく暑くなった決勝日。昼頃、ゲリラ豪雨に見舞われ、室屋義秀氏のフライトは中止になりました。

スタート進行前に雨がやみ、ドライでグリッドについてのスタート前に再び雨。ウェット宣言が出されレインタイヤを装着しスタートドライバーを務めました。その後、雨は止みピットに入ってスリックタイヤに交換。#244から煙が発生しグラベルに停車したことでSC。SC解除後は粘り強く走行を重ね、少しずつポジションアップ。46周でピットインし、吉田選手に交代します。雨は降ったり止んだり難しいコンディションが続く中、#25から炎があがり、緊急停車するものの火災が発生。燃料系に引火したため、67周で赤旗提示。約1時間レースは中断になりました。けが人はなく鎮火し、1時間後にレース再開。その後は堅実なレース運びで9位でチェッカー、開幕から4戦連続で入賞。貴重なポイントを得ることができました。

天候の変化が大きく荒れた展開になりましたがチームワークでポジションアップすることができました。次戦の鈴鹿も450km。マシンはさらに重くなり、過酷な大会になりますがチャンピオン獲得に向けて邁進します。

鈴鹿戦は8/26-27、酷暑の決戦です。

引き続き、応援のほどよろしくお願いいたします。